

## 女性部会コーナー

### 2014 女性部東西合同 新年交流会「経済講演会」 に参加して

株式会社はあもにい 大野晴己

東西の女性部会員の皆様一堂に会して開催された経済講演会は、新聞からの情報収集の重要性でした。

近年、新聞を読まなくなったと言われていきます。以前、ある大学で調査をしましたが、読んでいると答えたのは10%も満たない人数で、この10%も就職活動中の3年生でした。社会人の若手社員においては、約0.8%でした。

新聞には毎日500本くらいのセレクトされた新鮮な情報が、新書2冊分詰まっていると話されていました。情報量と正確さを考慮すれば最も正確で信頼のある手段であると思います。情報の命は何といても「信頼性」です。

新聞記事の読み方についても「見出し」と「記事」(前文と本文)で構成されていることや記事の結論は、小見出し(脇見出し)に書かれており記事文で詳しい内容を深める、つまり、記事の構成は逆三角形であることが理解できました。

また新聞から効率よく情報を得るにはコツがあることや記事を全部読む必要はないことなど、見出しだけ前文だけの拾い読みでも基本情報が分かるように作られていることも再確認できました。



オークラアクティシティホテル浜松「チェルシーの間」

今回の学びから、新聞を読むことは5つの効果があると考えました。

「新聞を読む5つの効果」

- 1、語彙(ごい)が豊富になる
- 2、誤字・脱字が無く、文章構成が正確な信頼できる文字情報である
- 3、読解力が養われ、情報の取捨選択ができる
- 4、論理的な思考力から、正解や賛否を探ることによりモノの見方や視点が広がる
- 5、あらゆる情報が一覧でき、情報の共有ができる

その後、プロの料理人から直伝の地産地消の大切さとこだわりの調理方法をお話いただきました。また、木管楽器の吹き口が葦で作られているお話を交えて心地よい音楽演奏に酔いしれました。多くの大先輩の皆様とお逢いできる貴重なひとときでもあり、新年の幕開けにふさわしい華やかな中にも、学びを頂く貴重な場をお創り頂きましたこと心より感謝申し上げます。



講師の岩城みずほ氏



サクソ・フルート・ピアノによる三重奏



宴会調理課 平野照人氏